

## 山中城 静岡県三島市山中新田字下ノ沢ほか

永禄年間（1558年 - 1570年）に北条氏康により築城される。北条氏の本拠地である小田原の西の防衛を担う最重要拠点で城は東海道を取り込む形で造られていた。

北条氏政の代に豊臣秀吉との関係が悪化すると山中城を改修し防備を固めることになるが、結局間に合わず未完成のまま豊臣軍を迎える。1590年（天正18年）、小田原征伐で豊臣秀次率いる6万8千の軍勢が山中城を攻撃、守将は北条氏勝ら3千。戦力差甚だしく猛烈な力攻めの結果わずか半日で落城し多くの武将や城兵が討死した(説明版など)。



すり鉢曲輪方面

障子堀



出丸馬場跡

出丸馬場堀

すり鉢曲輪



箱井戸跡

兵糧庫跡

田尻湖



同城の特徴の障子堀